

我等松若

題字は

初代監督 故・松島正吉先生

平成22.4 Vol. 22-1 **第32号**



新年度のご挨拶



■陸上部後援会 会長 **鈴木 章介** (7回卒)

風薫る季節、会員の皆様には御健勝の事と推察申し上げます。昨年の奈良インターハイを顧みますと、残念ながら男子出場者は「ゼロ」、女子は走高跳の辻七都子さん只1人(8位入賞)の有様で淋しい限りです。

近年の低調については、地元の人達は言うまでもなく全国の知人・友人からは、浜商の陸上はどうなっているの?と言う言葉をよく耳にします。一昨年、本年の入部者を考えると、学校側の良き御理解を頂くと共に、山下先生の一層の努力、御指導を御願いたいの一言に尽きると思います。(入部者数が少ない)

如何に好素材を持っている中学生を、私を含め後援会の皆様と、学校側と生徒を指導して下さっている先生が真剣になって浜商受験に導く事を考えねばなりません。OB・OGの出身中学校の陸上部、現在居住している近くの中学生への地道な勧誘、コミュニケーションが必要であると思われます。

浜商の陸上部はこんなに素晴らしい全国に誇れる伝統あるクラブで、進学・就職しても、さすが浜商陸上部出身者だけあるなど、お誉めの言葉を頂く事があります。

陸上の成績でなく、部を通しての勉学、人間形成、しっかりした挨拶、服装、礼儀作法、教養を身につけられる部である事をよく中学生に説明説得をして頂ければ受験生も多くなるのではないのでしょうか。是非、皆様の力と勇気を持って浜商陸上部への入部を勧めて頂きたいと思えます。

結びに、会員皆様の益々の御多幸と御健勝を祈念し言葉とさせていただきます。



■陸上部

監督 山下 徹也

平成21年度の回顧と本年度の展望

着任して5年目が終了します。この時期は何回卒業生を送り出しても慣れることのない寂しさを感じます。今年度の卒業生にも溢れんばかりの思い出が詰まっています。

川瀬友視主将と辻七都子女子代表のリードの下、平成21年度の競技会は矢継ぎ早に過ぎていきました。東海総体で、辻（走高跳）1人が奈良総体への出場権を得ました。昨年の悔しさをばねに挑戦的な跳躍を心掛け、8位入賞しました。苦しくても笑顔を絶やすことのなかった彼女の前向きな日々の心掛けが実を結んだ競技会でした。辻1人の寂しい出場でしたが、多くの部員や後援会の方々に応援していただき、辻も心から感謝していました。ありがとうございます。そして新潟国体にも辻が少年女子共通走高跳で出場し、4位入賞を納めました。山梨で行われた日本ジュニア・ユース選手権では、辻（ジュニア走高跳）と伊藤浩一路（ユース800m）が出場しました。県高校駅伝は男子・女子ともに力を尽くしましたが納得のできる結果を残すことができず、悔しさが募りました。

いずれの競技会も後援会各位の期待には添うことができず力不足を感じます。しかし、生徒一人一人が心豊かに逞しく成長し、変動目まぐるしい現代社会の中で有為な人材として活躍できる基礎固めができていると感じます。陸上競技部の活動のために、皆様の声援はもとより、金銭面で援助や心温まる励ましをいただき、改めて感謝しています。ありがとうございました。

そして結びになりましたが、2年間にわたり陸上競技部の副顧問として援助していただけた山崎ゆり子先生の転勤が決まりました。本校卒業生である先生には随分と助けていただきました。柔道部出身の先生ですが、毎日遅くまで暑い日も寒い日もグラウンドに生徒と一緒に立ち、「私にもできることでみんなを助けます。」と、ご尽力いただきました。その言葉通り随分と助けていただきました。生徒はもちろんですが、私も大変感謝しております。ありがとうございました。この紙面をお借りし、後援会の皆さまにもご報告させていただきます。

平成22年度も浜商魂で真摯に邁進いたします。高村竜麻主将・和久田明日香女子代表を柱に浜商生らしく粘り強く、努力の過程を重んじ、頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

平成21年度卒業生諸君、自己実現に向けて、自己研鑽を積み、有意義な時間を積み重ねて下さい。3年間、ありがとう。



“いざ沖縄総体へ!”

平成21年度 新人戦西部予選 (21年9月12日～13日、浜松四ツ池)

(男子)

(種目)	(順位)	(記録)	(氏名)	(学年)
400m	6位	50秒58	伊藤浩一路	2
800m	2位	2分0秒33	伊藤浩一路	2
110mH	3位	15秒92	竹之隅一郎	2
	4位	16秒43	馬淵 和哉	1
400mH	3位	58秒08	竹之隅一郎	2
3,000mSC	3位	10分12秒03	寺田 極	2
5,000mW	優勝	25分31秒55	内山 慎	2
4×400mR	4位	3分24秒20	竹之隅一郎	2
			岡本 圭史	2
			鈴木 貴晴	1
			伊藤浩一路	2
			森下 友雅	1
			溝口 佑真	1
砲丸投	3位	13m25	井村 真揮	1
	4位	13m11	高村 竜麻	2
円盤投	4位	34m30	池谷 健吾	2
	6位	33m52	井村 真揮	1
ハンマー投	優勝	50m69	高村 竜麻	2

(女子)

(種目)	(順位)	(記録)	(氏名)	(学年)
100m	5位	12秒94	杉浦 光希	1
200m	5位	26秒28	吉良麻奈未	1
400m	3位	1分1秒68	山本 祐里	2
1,500m	4位	4分45秒42	和久田明日香	2
3,000m	5位	10分23秒65	和久田明日香	2
4×100mR	3位	50秒95	大場 絢乃	2
			杉浦 光希	1
			久野絵梨香	1
			吉良麻奈未	1
			山本 祐里	2
			松下 有加	2
4×400mR	5位	4分10秒65	高林 玲奈	1
			宮崎里佳子	2
			山本 祐里	2
			吉良麻奈未	1
			大野 光生	2
			大場 絢乃	2
			杉浦 光希	1
走高跳	3位	1m50	高林 玲奈	1
	5位	1m50	宮田 理那	1
走幅跳	優勝	5m37	高林 玲奈	1
	4位	5m09	宮崎里佳子	2

(太字の選手は、既に22年度県総体への出場権を得ています)

総会および選手激励会のご案内

総会および選手激励会を開きますので、皆様多数のご出席をお願い申し上げます。

日 時 **5月16日(日)** 11時 総会 ・ 12時 選手激励会
 会 場 呉竹荘(浜松市中区東伊場) TEL 053-453-1511
 会 費 5,000円

平成22年度 新入生紹介

鈴木 仁 三方原中 走幅跳 県大会 4 位
鈴木龍之介 天竜中 四種競技 県大会 2 位
山田 裕介 天竜中 100m
溝口 佳佑 曳馬中 100m
渡辺 淳也 江西中 100m
小野田 樹 鷺津中 長距離

高柳 愛 佐鳴台中 100m
飯田 真莉 天竜中 走幅跳
原 なつみ 浜松東部中 長距離

平成22年度 主要大会日程・競技場

総 体	西部予選	5 月 7 日 (金) ~ 9 日 (日)	浜松四ツ池
	県 予 選	5 月 28 日 (金) ~ 30 日 (日)	エコパ(袋井市)
	東海予選	6 月 18 日 (金) ~ 20 日 (日)	瑞穂(名古屋市)
	全国大会	7 月 29 日 (木) ~ 8 月 2 日 (月)	沖縄県総合(沖縄市)
新 人 戦	西部予選	9 月 11 日 (土) ~ 12 日 (日)	浜松四ツ池
	県 予 選	9 月 25 日 (土) ~ 26 日 (日)	草薙(静岡市)
	東海大会	10 月 23 日 (土) ~ 24 日 (日)	草薙(静岡市)
千 葉 国 体		10 月 1 日 (金) ~ 5 日 (火)	千葉県総合(千葉市)
日本ジュニア・ユース選手権		10 月 15 日 (金) ~ 17 日 (日)	瑞穂(名古屋市)
駅 伝	県 予 選	11 月 7 日 (日)	エコパ(袋井市)
	東海大会	11 月 28 日 (日)	知多(知多市)
	全国大会	12 月 26 日 (日)	西京極(京都市)

平成21年度 全国大会入賞報告

奈 良 総 体

女子 走高跳 8位 1m65 辻 七都子 3年

新 潟 国 体

女子 少年共通走高跳 4位 1m69 辻 七都子 3年

平成21年度 陸上部後援会賞

走高跳 辻 七都子 3年

浜 商 新 記 録

男子 円盤投(新規格1.75kg) 37m74 池谷 健吾 2年
ハンマー投(新規格6kg) 54m19 高村 竜麻 2年

平成21年度 会計報告

自 平成21年 4 月 1 日 至 平成22年 3 月31日

(単位：円)

1 収入の部

(1)前期繰越金	928,069	
(2)年会費収入	320,000	71名
(3)寄付金収入	190,000	広告ほか
(4)仮受金	177,000	22年度会費先行納入 37名
(5)負担金収入	331,000	総会兼選手激励会会費
(6)雑収入	177	
合 計	1,946,246	

2 支出の部

(1)陸上競技部助成金	160,000	
(2)総会兼激励会費用	451,384	
(3)「若松我等」発行費用	194,951	作成・郵送代
(4)会議費	19,400	執行部会
(5)事務費	1,910	
(6)慶弔費	59,810	弔慰金4件
(7)雑支出	315	
(8)次期繰越金	1,058,476	
合 計	1,946,246	

後援年会費ご納入のほど、お願いいたします

皆様の力強い御支援のもとに、後輩達が伝統を守り継いで輝かしい活躍を続けています。今年もお振込み下さるようお願いいたします。

振込先金融機関	静岡銀行 浜北支店	普通預金 483489
	浜松信用金庫 本店営業部	普通預金 832470
	遠州信用金庫 本店営業部	普通預金 1103697
	郵便局	12320-21490361
振込先口座	浜商陸上部後援会	
振込期日	6月30日まで	
年会費	5,000円 なお、35才未満については (男子 3,000円 女子 2,000円	

(なお、年会費額を超える分の金額につきましては「ご寄付」扱いとさせていただきます。)

お振込の際、お名前の前に「卒業回数」をご記入下さい。(記入例) 52回卒 若松 薫 → 「52若松 薫」

昭和33年卒…10回卒 昭和43年卒…20回卒 昭和53年卒…30回卒
昭和63年卒…40回卒 平成10年卒…50回卒 平成20年卒…60回卒

— 浜商魂たぎらせ逆転総合優勝 —

後援会員 嶋村 哲治（30回卒）
（湖西市鷺津）



私達、陸上競技部の思い出として、山下昌彦先生による指導の厳しい練習がまず思いおこされます。そして、その厳しい練習の中、勝ち取った昭和52年第30回岡山インターハイでの24年ぶり2度目の総合優勝は、忘れられない思い出として残っています。

総合優勝は入賞種目の総得点で競われます。我が校は、100mで寺田光男が優勝、400mリレー（嶋村、向山光洋、市川直行、寺田）で日本高校新の2位、5種競技で宮崎常次が5位と13点を上げ順調にトップを走っていました。しかし、最終種目の1,600mリレーを残して小野高校（兵庫）に1.5点差をつけられ逆転されてしまいました。逆転優勝するには5位以内に入らなければなりません。準決勝では7番目の記録だったと思います。決勝では私を含めメンバー4人全員（嶋村、鈴木睦比呂、高林克己、水谷安伸）、いや、チーム全員の思いが実を結び、見事2位に入り、逆転優勝を飾ることが出来ました。実はこの1,600mリレーは、浜松市内大会を含め東海大会まですべて3位、全国大会で初めて2位になったのです。

この時ほど、「浜商魂」を感じた事はありませんでした。私は主将として、4日間3種目に出場し本当に最高の結果を残す事が出来ました。そして、浜松駅から市役所迄のジープに乗っての祝勝パレードは、今でも忘れることのない思い出となっています。

（※第42回大会までは、6位以内が入賞です）



ゴリラの大看板が目印!!

6回卒 松田 恒

スポーツタウン **メイセイ**

〒430-0907 浜松市中区高林5-9-13 ☎053472-4533 ■浜松中央警察署北隣り

“**expartner**” 経営者の良き相談相手
MBC GROUP

税理士法人東海浜松会計事務所

〒430-0946 浜松市中区元城町 113-15 TEL(053)455-2181(代) FAX(053)452-2303
URL <http://www.nb-n.co.jp/mbc/>

捨てるから利用へ ステップ バイ ステップの

14回卒 鈴木 洋佑

株式
会社

太洋サービコ

〒431-0202 浜松市西区坪井町 3465-12 TEL (053)447-4640 FAX (053)449-1029

Flower Shop
SUZUKI

15回卒 鈴木 久仁英

浜松市中区住吉2-32-9 TEL:053-474-5566(代)
聖隷浜松病院西 FAX:053-472-6980

■売店 せいれい浜松病院店
■自販機 聖隷三方原病院
浜松医療センター